

# 平成28年度 岡山県文化振興審議会 配 付 資 料

日時 平成29年2月13日(月)  
14時～15時30分  
場所 ルネスホール ワークルーム

1	平成28年度県実施事業	
	(1) アートプロジェクトおかやま推進事業	
	(ア) 温泉で楽しむアート「美作三湯芸術温度」の実施	1
	(イ) アーティスト・イン・レジデンスの開催状況	3
	(ウ) クラシック音楽と舞踊のコラボレーション事業	5
	(エ) 片山真理展／ライブ&トークの実施	7
	(オ) 市町村事業への支援	9
	(2) 「まちアートマネジメント講座」の開催状況	11
	(3) 県立美術館事業	13
2	おかやま文化振興ビジョン成果指標実績	15
3	新晴れの国おかやま生き生きプラン(案)について	21
4	平成29年度文化振興課重点事業	25
5	新おかやま文化振興ビジョン(仮称)策定スケジュール	27
6	岡山県文化振興審議会規則	28
	<参考資料>	
	重要無形民俗文化財の指定等	29
	平成29年度文化庁予算(案)の概要	30

# 温泉で楽しむアート「美作三湯芸術温度」の実施について

## 1 概要

県北部の美作三湯（湯郷、奥津、湯原）の宿泊施設に県内外の一流の現代アート作家 16 名を招いて作品の制作・展示を行い、この場所でしか味わうことができないアートを創造・発信する。

## 2 会期

平成 28 年 3 月 20 日（日）～6 月 30 日（木）

## 3 会場

美作三湯の各旅館組合に所属している 22 旅館等のロビー及びその周辺

## 4 キュレーター

岸本和明（奈義町現代美術館館長）

## 5 作家（16名）

- ・太田 三郎（八景）
- ・小野 耕石（ゆのごう美春閣、リゾートイン湯郷）
- ・樫尾 聡美（ゆばらの宿 米屋）
- ・草間 喆雄（名泉鍵湯奥津荘、米屋倶楽部奥津）
- ・胡桃澤 千晶（やさしさの宿竹亭、ふくます亭）
- ・柴川 敏之（和モダンなお宿かつらぎ）
- ・鈴木 紗也香（ポピースプリングスリゾート&スパ）
- ・高松 明日香（清次郎の宿 ゆのごう館）
- ・高本 敦基（菊乃家旅館）
- ・徳持 耕一郎（東和楼、河鹿園、森のホテルロシュフォール）
- ・中島 麦（湯郷グランドホテル）
- ・藤原 裕策（やさしさの宿竹亭、ふくます亭）
- ・船井 美佐（ゆのごう温泉 花の宿 にしき園）
- ・堀口 華江（湯原国際観光ホテル菊之湯、湯めぐりの宿松の家花泉）
- ・松岡 徹（元禄旅籠油屋、湯の蔵つるや）
- ・母袋 俊也（季譜の里）

## 6 来場者

105,000 名（H28. 3. 20～H28. 6. 30）



太田三郎×八景



檜尾聡美×ゆばらの宿米屋



草間結雄×米屋倶楽部奥津



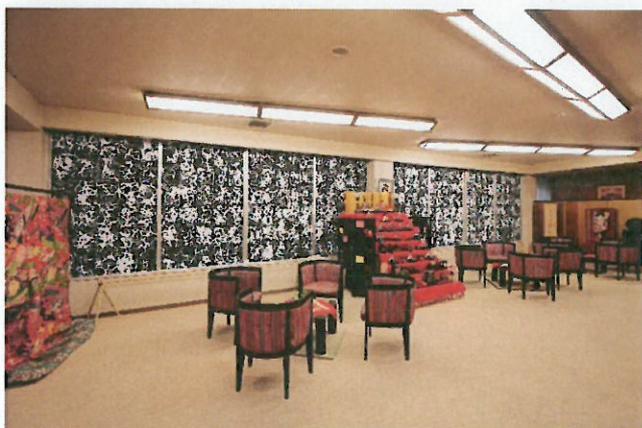
胡桃澤千晶×ふくます亭



柴川敏之×和モダンなお宿かつらぎ



高本敦基×菊乃家旅館



藤原裕策×ふくます亭



堀口華江×湯原国際観光ホテル 菊之湯

アートプロジェクトおかやま推進事業 アーティスト・イン・レジデンスの開催状況

<p>事業趣旨</p>	<p>地域住民や地元アーティスト、NPO、市町村等によるサポートグループが主体となり、地域資源を活用したアーティストの短期滞在制作（アーティスト・イン・レジデンス=AIR）を実施することで、文化による地域づくりを促進する。</p>
<p>事業概要</p>	<p><b>笠岡諸島アートブリッジ2016</b>          笠岡諸島の3つの島で、それぞれの島の特質を生かした滞在制作を実施。  <b>白石島</b>          開催期間：8月5日～17日 作家：杉原信幸など4名          旧庄屋の屋敷「松浦邸」や島に点在する空き家などを会場に、地域に素材や題材を求めて制作した作品を展示。  <b>北木島</b>          開催期間：8月11日 作家：yummydance、岩本象一          島民とともに創作したダンスを、島特産の北木石で作った楽器の演奏に合わせて披露。  <b>六島</b>          開催期間：8月7日～11日 作家：三友周太、金子雄生、米山力          島にあるブイを利用した「カメラオブスクラ」の設置や音のワークショップを実施。また、廃屋を利用し「六年後の自分に贈る」をテーマにした作品展示。</p> <p><b>美咲芸術世界</b>          パリの共同アトリエ「59Rivoli」で活躍したアーティストなど10名が、美咲町の旧大井和小学校など町内各所で滞在制作。地域の素材に目を向けるとともに、オープニングイベントでは、創作舞踊、デモンストレーション、マルシェを開催するなど、地域との交流を図りながら公開制作を実施。          開催期間：10月1日～30日          作家＜海外＞ ブルノ・デュモンなどフランスから3名          ＜国内＞ 楽画鬼（美咲町在住）、ステファン・ルルなど7名</p> <p><b>大谷俊一AIR</b>          美術家大谷俊一が、勝央町と鏡野町で地域の特質を生かした滞在制作を実施。          ・「再会／共に表現する楽しみ」          旧勝田郡役所である旧勝央町郷土美術館の建物を、表現の場所としてではなく、場所の特質を表現する対象として捉えた作品を制作・展示。          開催期間：9月10日～19日 場所：旧勝央町郷土美術館          ・「ラクツポイント2016」          奥津温泉の特質を示す場所24箇所をラクツポイントと命名し、その特質を表現するための仕掛けや装置の制作、関連のイベント等の開催により鑑賞者に巡ってもらおう作品を制作・公開。          開催期間：10月9日～11月13日 場所：鏡野町奥津地区一帯</p> <p><b>鬼・鐵・忠—鉄をテーマに古代から現代を視るプロジェクト—</b>          鉄の造形作家榎忠が、市民参加により実施した砂鉄取りのワークショップとたたから製鉄の再現によりできた鉄とともに鉄の造形作品を展示。シンポジウムも開催。          開催期間：11月11日～23日 場所：総社アートハウス（旧池上邸）</p> <p><b>白矢幸司アーティスト・イン・レジデンス</b>          土を焼成して制作する白矢幸司が、真庭市蒜山や勝山に滞在し、多数の球体作品を制作、インスピレーションを受けた場所にインスタレーション作品として展示。          開催期間：平成29年1月9日～22日 場所：旧遷喬尋常小学校</p>

「笠岡諸島アートブリッジ」



展示風景：白石島



公演風景：北木島

「美咲芸術世界」



オープニングイベント

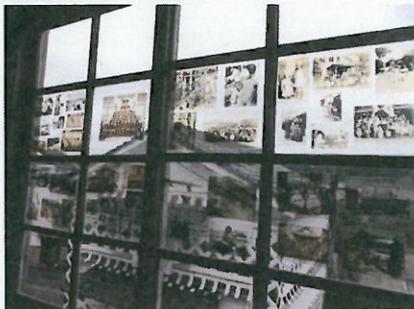


制作風景：旧大坪和小学校



展示風景：大坪和西棚田

「大谷俊一AIR」



「再会／共に表現することの楽しみ」展示風景



「ラクツポイント2016」奥津湖巡視体験

「鬼・鐵・忠—鉄をテーマに古代から現代を視るプロジェクト—」



ワークショップ：たたら製鉄の再現



展示風景：総社アートハウス

「白矢幸司アーティスト・イン・レジデンス」



制作風景：蒜山文化伝承館



展示風景：旧遷喬尋常小学校

# クラシック音楽と舞踊のコラボレーション事業の実施について

## 1 趣旨

県内のプロアマを中心とした演奏者により結成したオーケストラ等の演奏で、日本舞踊、現代舞踊の創作舞踊を公演し、子どもから高齢者まで幅広い年代の県民を対象に、ジャンルを超えた斬新な文化に触れてもらう。

## 2 概要

日時：平成 28 年 10 月 30 日（日）

会場：倉敷市民会館ホール

## 3 基本方針

プロデューサー陣及び出演者は岡山県にゆかりのある人物を中心に構成し、演目にも岡山らしさを取り入れる。

### (1) 総合プロデューサー

白濱俊宏（くらしき作陽大学大学院准教授）

### (2) オーケストラ

岡山フェスティバル・オーケストラ

指揮／音楽監督 江原功

### (3) 合唱

岡山フェスティバル・コーラス

合唱指揮 小池芳弘（岡山県合唱連盟理事長）

### (4) 日本舞踊

藝〇座（岡山出身の花柳大日翠など、東京藝大卒業生による日本舞踊家集団）

### (5) 現代舞踊

岡山県現代舞踊連盟、Honey-B

## 4 演目

第 1 幕 クラシック音楽×日本舞踊

オムニバスおかやま

① 醍醐桜 ～華麗なる大円舞曲～

② 後楽園の丹頂鶴 ～ツィガーヌ～

③ 倉敷ジャズストリート ～A列車で行こう～

第 2 幕 オーケストラ

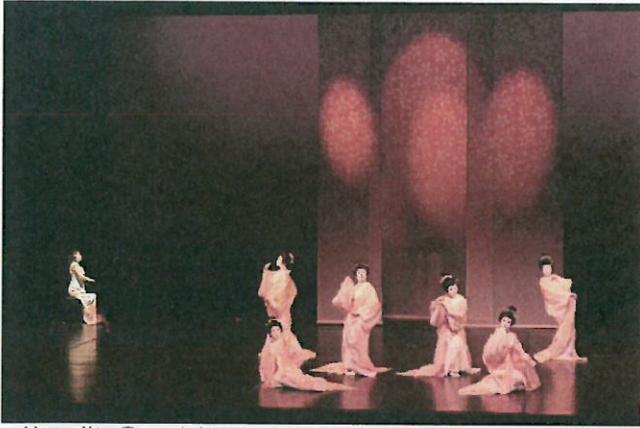
ドボルザーク交響曲第 9 番 ～新世界より～（第 2 楽章・第 4 楽章）

第 3 幕 オーケストラ×合唱×現代舞踊

ベートーヴェン交響曲第 9 番 ～歓喜の歌～（第 4 楽章）

## 5 来場者

489名



第1幕 ①醍醐桜



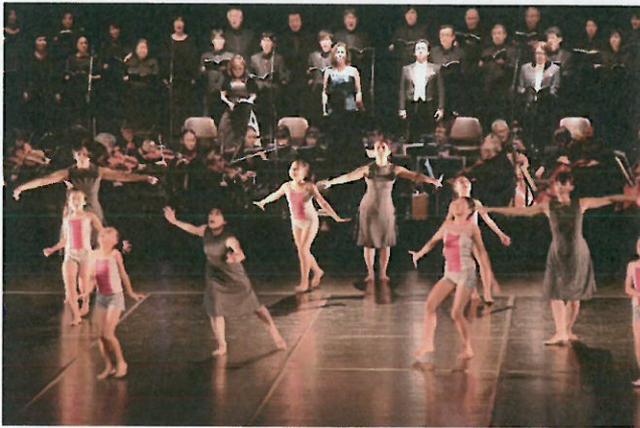
第1幕 ②後楽園の丹頂鶴



第1幕 ③倉敷ジャズストリート



第2幕 ドボルザーク交響曲第9番 ～新世界より～



第3幕 ベートーヴェン交響曲第9番 ①



第3幕 ベートーヴェン交響曲第9番 ②



フィナーレ



岡山県書道連盟作品展



華道作品展示  
(池坊岡山県連合支部)

# 片山真理展／ライブ&トークの実施について

## 1 趣旨

先天的な病で幼い頃に切断を余儀なくされた足や、義足を身につけた自身をモチーフとし、テキスタイルを中心に作品を制作する傍ら、歌手やモデル、講演、執筆など、多方面にわたる活動で若手女性アーティストとして高い評価を受けている片山真理氏が、岡山の地域資源に触発され制作した作品をはじめ、旧作から新作に至る片山氏の代表作を展示する展覧会を開催するとともにライブ及びゲストを迎えてのトークを実施する。

## 2 概要

### (1) 展覧会「片山真理展 ～セルフポートレートとオブジェ～」

日時：平成28年11月19日(土)～12月11日(日)

会場：ルネスホール・金庫棟ギャラリー

### (2) ライブ&トーク「クラブ真理 in 岡山」

平成28年11月26日(土) 18時～20時30分

会場：ルネスホール

#### 【第1部】 ライブ

片山氏がギター、ピアノの伴奏でシャンソンを歌う

#### 【第2部】 トーク「なぜ、ソテツなの？」

片山氏とゲストがテーマに沿ったトークを繰り広げる

ゲスト：奈義町現代美術館館長 岸本和明氏

岡山後楽園事務所広報スタッフ 坂本美香氏

## 3 基本方針

アートプロジェクトおかやまの共通するコンセプトである「地域資源を活用したアートイベントの実施により地域の活性化を図ること」に沿い、片山真理氏のこれまでとこれからという作品展示の全体の流れの一部に岡山特有のものを生かした作品を展示していただき、それを鑑賞した岡山県民が、郷土を再発見・見直してもらうきっかけを作る。

## 4 来場者

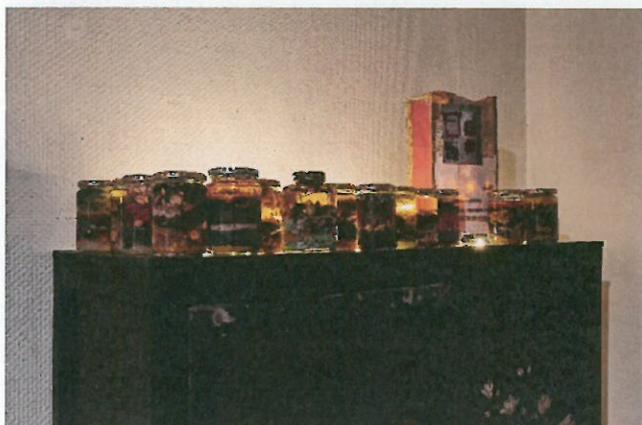
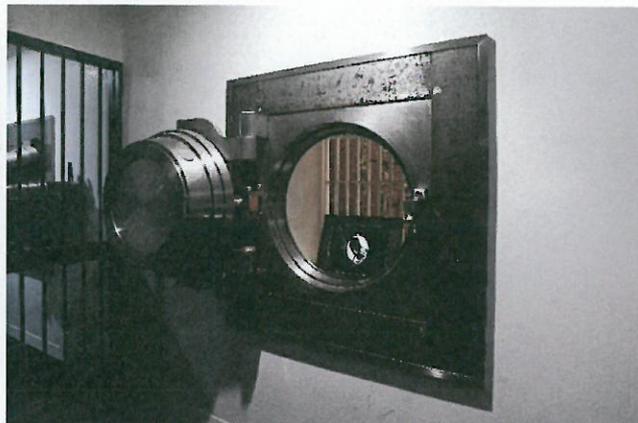
### (1) 展覧会

約1,200名

### (2) ライブ&トーク

約200名

片山真理展 (平成 28 年 11 月 19 日(土)~12 月 11 日(日))



「クラブ真理 in 岡山」 (平成 28 年 11 月 26 日(土))



# アートプロジェクトおかやま推進事業 市町村事業への支援について

## 1 概要

アートプロジェクトおかやま推進事業の趣旨に賛同し、事業に参加する市町村が企画する事業の事業費を2分の1以内で支援する。

## 2 実施市町村

### (1) 岡山市

岡山芸術交流

時期：平成28年10月9日(日)～11月27日(日)

会場：岡山市内カルチャーゾーン周辺

負担額：50,000千円

### (2) 倉敷市

新進気鋭のアート写真家展

時期：平成28年10月29日～11月13日

会場：倉敷アイビースクエア

補助額：365千円

### (3) 井原市

hoshioto'16 ライブペインティング

時期：平成28年5月28日

会場：美星町星空空間特設ステージ

補助額：250千円

### (4) 備前市

Discovery BIZENーいんべ探検隊ー (備前焼とのコラボによるアート作品制作等)

時期：平成28年7月24日～8月4日

会場：備前焼伝統産業会館ほか

補助額：300千円

### (5) 赤磐市

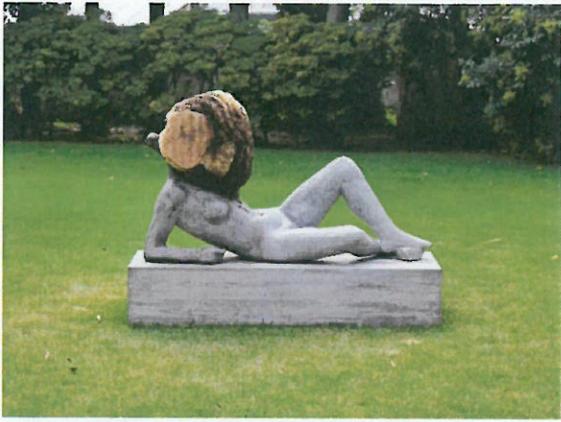
あかいわアトラリー

時期：平成28年9月17日～9月25日

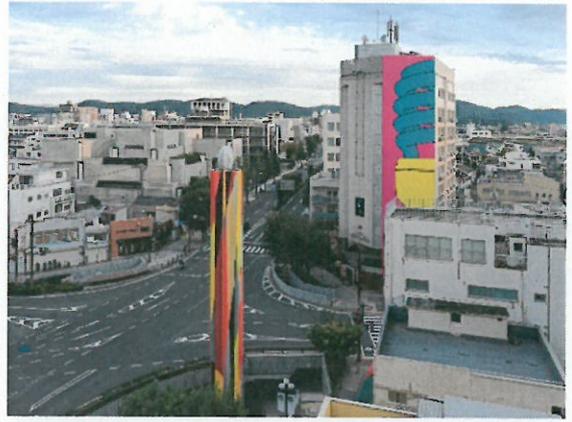
会場：ドイツの森、熊山英国庭園ほか

補助額：1,000千円

岡山市（岡山芸術交流）



ピエール・ユイグ（林原美術館）



リアム・ギリック（城下地下広場シンボルタワー）  
& マイケル・クレイグ・マーティン（ホテル  
エクセル岡山壁面）

倉敷市（新進気鋭のアート写真家展）



アート写真家展の様子

井原市（hoshioto' 16）



ライブペインティング

備前市（Discovery BIZEN-いんべ探検隊-）



備前焼陶片を素材に門をかたどった  
リサイクルアート

赤磐市（あかいわアートラリー）



熊山英国庭園での様子

「まちアートマネジメント講座」の開催状況

事業趣旨	地域のイメージアップとにぎわい創出につながる文化芸術イベントの企画やコーディネートができる人材を育成し、文化を核とした地域づくりを推進する。
フィールドワーク場所	小田郡矢掛町矢掛 やかげ町家交流館付近 旧山陽道沿い
事業概要	<p>《講座講師》伊永和弘（美術作家）、田野智子（NPO法人ハートアートリンク代表理事）  《講座受講生》26名</p> <p>○プレトークセッション（4月16日（土））  常勤講師2名により、文化や芸術を活用した地域の魅力発信等に取り組むアートマネジメントの魅力についてトークセッションを行った。</p> <p>○スタート・トークセッション（矢掛町 5月28日（土）、岡山市 5月29日（日））  文化や芸術を活用して地域の魅力発信に取り組む県内外のキーパーソンを迎え、常勤講師2名とともにトークセッションを行った。</p> <p>○講座の開催（6月11日（土）～1月21日（土） 全16回（うち、1回は鳥取県中部地震のため中止））  企画の進め方や実際のアートイベントの運営、イベントの広報戦略、効果的な広報物の作成方法などを常勤講師、外部講師から学ぶ座学講座に加え、地域の歴史や文化を生かしながら、受講生自らが企画・準備から開催・運営までを実際に経験するフィールドワークとして文化イベント（実証イベント・成果発表会）を行った。</p> <p>○実証イベントの開催（11月5日（土）～11月6日（日））  地域の歴史や文化を生かしながら、受講生自らが企画、準備から開催・運営までを行う実証イベント「やかげ芸術街道2016」を開催した。  【開催場所】 小田郡矢掛町 やかげ町家交流館周辺  【タイトル】 やかげ芸術街道2016 時空を超えたアートな往来が生まれる街  【参加アーティスト】 8名  【概要】 絵画、食のアート、ファッションアート、打楽器等演奏、ダンスパフォーマンス、フラワーアート、彫刻、仏像看板アート  【来場者数】 約2,500人（前年度約1,200名）</p> <p>○成果発表会（2月18日（土））  講座を通して得られた成果や反省点など、受講生自らが企画・運営する報告会を、ルネスホール（岡山市北区内山下）で開催する予定である。</p>

プレトークセッション 4月16日（土）（NPO法人倉敷町屋トラスト 参加者28名）



スタート・トークセッション

5月28日（土） やかげ町家交流館 参加者60名



5月29日（日） 天神山文化プラザ 参加者58名



両日とも山口尚之氏（建築家）、林僚児氏（アーティスト）をゲストスピーカーに迎え開催

講座（座学、フィールドワーク）6月11日（土）～1月21日（土）全16回（地震により1回休講）



まち歩きでフィールドを理解



歴史・文化と地域おこしの講義から開始



受講生は講義、発表とディスカッションを通してアートマネジメントを学ぶ



実証イベント 11月5日（土）～11月6日（日）



オープニングイベント



絵画（古民家）



食のアート（ヤカゲ麩ランチ）



打楽器等演奏（コンサート）



ダンスパフォーマンス（街道）



仏像看板アート（街道練り歩き）

## 県立美術館事業について

国内外の優れた芸術活動を紹介する展覧会や美術館講座の開催等、県立美術館の機能を最大限に活用した事業を展開した。

### 1 展覧会事業

#### (1) 平成28年度特別展等

展覧会名	期間	入館者数(人)
世界を魅了した陶芸家 宮川香山	3/18～5/8	13,546
原田直次郎 西洋画は益々奨励すべし	5/27～7/10	4,788
伊達政宗と仙台藩	7/15～8/28	16,757
岡山県美術展覧会	9/7～9/18	7,023
浦上玉堂と春琴・秋琴 父子の芸術	9/23～10/30	6,710
国吉康雄—日本とアメリカ 岡山のコレクションから ＜アートプロジェクトおかやま推進事業＞	9/23～11/6	5,524
第63回日本伝統工芸展岡山展	11/17～12/4	5,593
THE世界名作劇場	3/17～5/7	

#### (2) 平成29年度特別展

展覧会名	期間
THE世界名作劇場	3/17～5/7
日本工芸会中国支部60周年記念展	5/24～6/25
傑作・浮世絵 揃い踏み	7/14～8/27
岡山県美術展覧会	9/6～9/17
良寛展	9/29～11/5
第64回日本伝統工芸展岡山展	11/16～12/3

※12月中旬～H30.4月中旬まで大規模修繕のため休館の予定

### 2 次世代ミュージアムファン確保事業

若い世代の人たちに「美術館とのよき出会い」や「生涯を通じ芸術に触れるきっかけ」を積極的に提供することで、美術館を身近に感じ、生涯にわたって美術館に足を運ぶ環境づくりを目指すもの。

#### ○グッド・スタート・ミュージアム事業

- ・アート・トラベリング・トランク等を活用した美術館学習プログラムの実施
- ・県立美術館、県立博物館、オリエント美術館が連携して校外学習を受け入れるモデルプランの検討
- ・県立美術館を利用する学校へのバス代サポート



### ○ キャンパスメンバーズ制度の導入

大学生等に気軽に美術館へ足を運んでもらうため、既に県で取り組んでいた「岡山後楽園等キャンパスメンバーズ制度」に、平成27年1月から岡山県立美術館も参加した。大学や短期大学、専修学校等に所定の会費負担を依頼し、メンバーになった学校（現在21校）に在席している学生に展覧会（特別展を除く）を無料で鑑賞してもらおう制度である。

〔大学生等来館実績〕

平成28年	736人（うち制度利用 387人）
平成27年	627人（うち制度利用 403人）
平成26年	394人

### 3 「おとなり美術館」事業

県立美術館と市立オリエント美術館が連携し、定期的に展覧会情報等の交換を行いながら、相互の情報発信と利用促進を目指す取組を平成27年度から進めている。

- ・ポスターやチラシ等で相互の展覧会をPRするコーナーの設置
- ・所蔵品を1点ずつ交換して紹介する「サテライト展示」
- ・入館チケットの半券を相手館に提示すると団体料金で鑑賞できる制度の導入
- ・美術館ボランティアの相互勉強会の開催 等

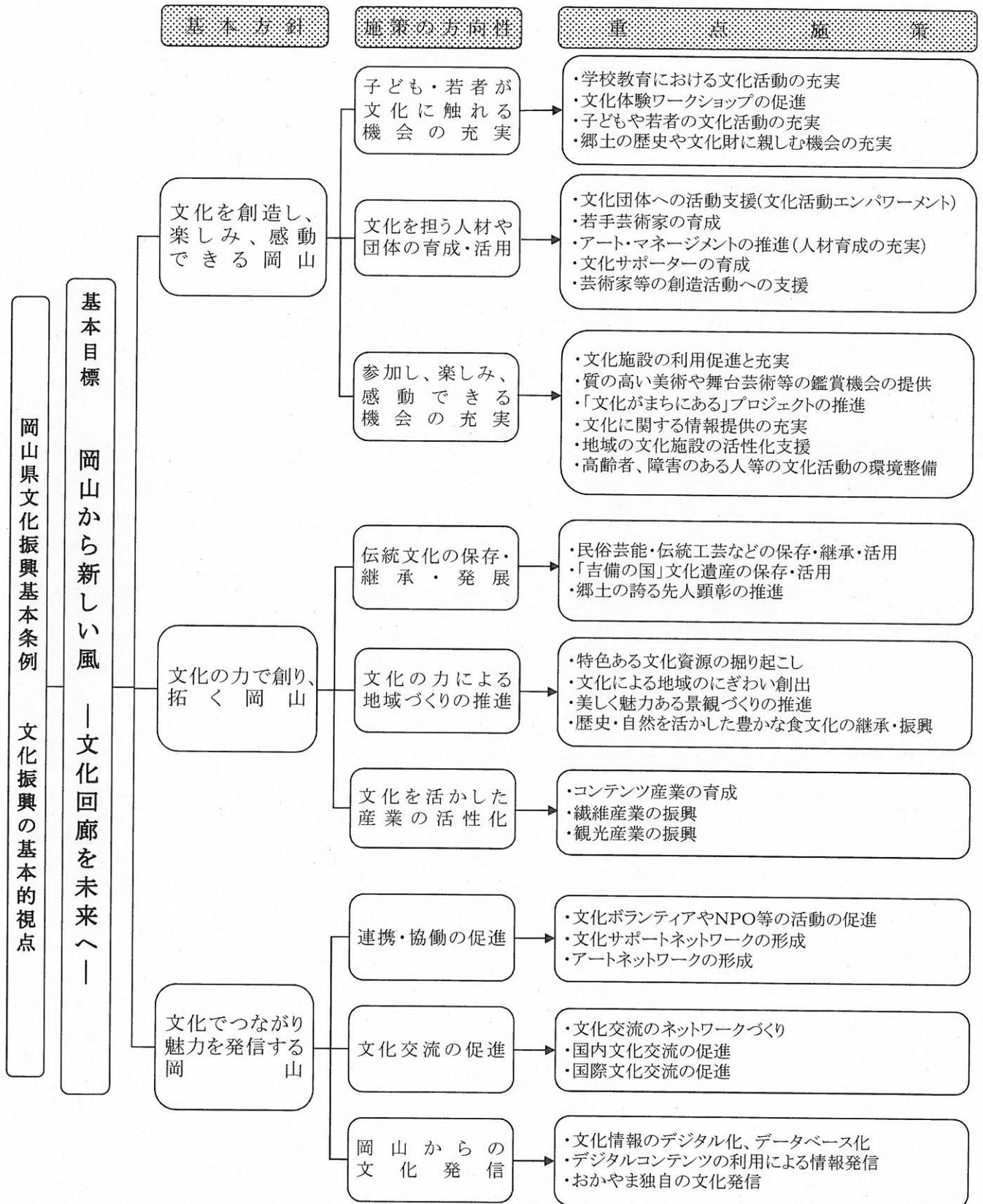


### 4 岡山県博物館協議会25周年記念事業

県内77加盟館（H28）で組織している当協議会（事務局：県立美術館）の創設25周年を記念する協働事業を展開した。

- ・加盟館紹介パネルの巡回展示 13施設
- ・博物館めぐりスタンプラリー 参加者約2,000人
- ・加盟館交流事業（講演会・ワークショップ等） 32事業

# お か や ま 文 化 振 興 ビ ジ ョ ン 施 策 体 系



○おかやま文化振興ビジョンとは・・・

- 岡山県文化振興基本条例に基づく、文化振興に関する基本計画として平成20年に策定
- 取組期間は10年間(平成20年度～平成29年度)
- 平成24年度に中間見直しを行い改訂(成果指標(数値目標)の導入)

# 文化振興ビジョンにおける成果指標の実績

## 1 文化を創造し、楽しみ、感動できる岡山

### (1) 子ども・若者が文化に触れる機会の充実

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	直近の実績値 (H28.12末)
学校行事で県立美術館を訪れた人数	4,104人 (H23年度)	4,400人	5,848人	3,518人	2,734人	2,934人	2,312人
(説明)授業や部活動などの学校行事で県立美術館を訪れた人数							
ワークショップ参加者数	908人 (H21～H23平均)	1,000人	2,632人	2,318人	2,592人	1,984人	2,358人
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホールが開催したワークショップに参加した人数							
アウトリーチ活動実施回数	28回 (H21～H23平均)	30回	45回	39回	36回	39回	18回
(説明)県立美術館、県立博物館、ルネスホールが実施したアウトリーチ活動の回数							

### (2) 文化を担う人材や団体の育成・活用

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	直近の実績値 (H28.12末)
あっ晴れ！子どもみらい塾講師派遣回数	338回 (H21～H23平均)	380回	341回	420回	464回	476回	312回
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数							
文化関係各種助成金の採択件数	22件 (H23年度)	25件	21件	34件	27件	34件	38件
(説明)文化庁、日本芸術文化振興会、地域創造等の団体が募集した助成金事業に採択された件数							
文化施設担当者研修会への参加者数	143人 (H23年度)	150人	164人	301人	160人	149人	114人
(説明)岡山県博物館協議会主催の研修会へ参加した人数							
岡山県美術展覧会への応募点数	3,384点 (H23年度)	3,500点	3,384点	3,450点	3,254点	3,279点	3,115点
(説明)岡山県美術展覧会へ一般応募された作品(日本画、洋画、工芸、書道、写真、彫刻、デザイン)の点数							
岡山県文学選奨への応募作品数	392件 (H24年度)	500件	392件	390件	428件	491件	414件
(説明)岡山県文学選奨に応募のあった作品(小説、随筆、現代詩、短歌、俳句、川柳、童話)の数							

(3)参加し、楽しみ、感動できる機会の充実

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	直近の実績値 (H28.12末)
文化施設利用者数	531,106人 (H23年度)	700,000人	527,721人	477,784人	455,719人	461,726人	354,137人
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数							
県立美術館の講座等への参加者数	1,646人 (H23年度)	2,500人	3,439人	3,418人	5,117人	3,343人	2,542人
(説明)県立美術館が実施する美術館講座、美術のタベ、講演会、フローレクチャー等への参加者数							
優れた芸術を鑑賞した学校数	85校 (H23年度)	475校	179校	292校	421校	549校	668校
(説明)県や国が実施するスクールコンサートや、青少年劇場、巡回公演事業等を開催した学校の累積数							
県民文化祭参加者数	252,914人 (H23年度)	350,000人	347,757人	358,116人	381,729人	417,509人	341,477人
(説明)おかやま県民文化祭への総参加者数							
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	20,572件	14,506件	23,217件	25,692件	28,147件
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数							

2 文化の力で創り、拓く岡山

(1)伝統文化の保存・継承・発展

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	直近の実績値 (H28.12末)
日本伝統工芸展への応募点数	146点 (H23年度)	150点	130件	133点	112点	110点	95点
(説明)日本伝統工芸展に県内在住者が応募した点数							
登録文化財の登録件数	251件 (H23年度)	300件	252件	268件	274件	274件	275件
(説明)登録文化財の登録件数							
後楽園の入園者数	664,503人 (H23年度)	765,000人	661,175人	659,121人	700,758人	817,260人	716,629人
(説明)後楽園の入園者数							

(2)文化の力による地域づくりの推進

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	直近の実績値 (H28.12末)
おかやま県民文化祭地域フェスティバル参加者数	33,073人 (H23年度)	40,000人	90,280人	257,400人	259,205人	284,367人	250,036人
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)への参加者数							
地域の景観づくりに主体的に取り組む景観行政団体(市町村)数	6団体 (H23年度)	10団体	6団体	7団体	7団体	8団体	8団体
(説明)景観計画の策定等、地域独自の景観形成施策を実施する景観行政団体(市町村)数							
地産地消協力店の登録店舗数	262店舗 (H23年度)	290店舗	288店舗	304店舗	330店舗	342店舗	355店舗
(説明)県産食材を積極的に提供する県内小売店や飲食店を「地産地消協力店」として県が登録した店舗数							

(3)文化を活かした産業の活性化

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	直近の実績値 (H28.12末)
IT・コンテンツ人材育成研修等への参加者数	36人 (H23年度)	40人	94人 95人	38人 48人	36人 69人	25人	16人
(説明)県の委託により実施したIT・コンテンツ人材育成関連の研修に参加した人数							
観光客入り込み数	2,337万1,459万人 (H23年暦年)	2,800 1,500万人	2,373 1,322万人 (H24年暦年)	2,394 1,232万人 (H25年暦年)	1,422万人 (H26年暦年)	1,449万人 (H27年暦年)	—
(説明)県内観光施設等への観光客入り込み数							

3 文化でつながり魅力を発信する岡山

(1)連携・協働の推進

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	直近の実績値 (H28.12末)
おかやま県民文化祭地域フェスティバル実行委員会への参加団体数	34団体 (H23年度)	40団体	43団体	29団体	82団体	147団体	206団体
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)の実行委員会に参加した団体数							
あつ晴れ！子どもみらい塾講師派遣回数	338回 (H21～H23平均)	380回	341回	420回	464回	476回	312回
(説明)岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数							
「おかやま文化の駅」ホームページアクセス数	27,742件 (H23年度)	35,000件	20,572件	14,506件	23,217件	25,692件	28,147件
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数							
県立美術館ボランティア数	81人 (H24年度)	85人	81人	80人	92人	97人	96人
(説明)県立美術館に登録しているボランティア数							

(2)文化交流の促進

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	直近の実績値 (H28.12末)
国民文化祭への派遣団体数	18団体 (H24年度)	20団体	18団体	7団体	8団体	11団体	7団体
(説明)国民文化祭への派遣団体数							
国際文化交流事業に参加した生徒数	— (H23年度)	900人	162人	162人	162人	261人	261人
(説明)国際文化交流事業(韓国・中国)に参加した高校生の累積数							

(3)岡山からの文化発信

指 標 名	現 況 値 (時 点)	目 標 値 (H29年度)	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	直近の実績値 (H28.12末)
普段の生活の中で、 芸術・文化、スポーツ等を実践したり、 観て楽しめる地域に なっていると感じる 人の割合	25.6%  (H23年度)	36%	31.1%	31.3%	28.5%	29.1%	30.2%
(説明)県民満足度調査普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっていると感じる人の割合							
「おかやま文化の 駅」ホームページア クセス数	27,742件  (H23年度)	35,000件	20,572件	14,506件	23,217件	25,692件	28,147件
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「おかやま文化の駅」へのアクセス数							
内田百閒文学賞へ の応募作品数	340件  (H24年度)	350件 (H28年度)	340件	—	306件	—	358件
(説明)内田百閒文学賞に応募のあった作品(随筆、短編小説)の数							
ラジオ番組による文 化情報等の発信回 数	—  (H23年度)	100回	26回	52回	78回	事業終了	
(説明)県内の文化情報を定期的なラジオ番組として情報発信した回数							



# 新晴れの国おかやま生き生きプラン（案）

## 【文化関係 抜粋】

重点戦略 Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造

### 8 生きがい・元気づくり支援プログラム

#### 概要

トップクラブチームへの応援や国民体育大会での好成績などが、県民に夢と希望、感動を与え、スポーツに関わるきっかけづくりにもつながりました。また、地域資源を活用したアートイベントや市町村が企画するアート事業への支援など、文化の力を活用して地域の活性化が図られるよう取り組んできました。

引き続き、芸術・文化、スポーツに対する県民の満足度を一層高めていくため、東京オリンピック・パラリンピック等も視野に取組を強化していく必要があります。

このため、芸術・文化、スポーツ活動の振興や生涯学習環境の整備、県民が生きがいを持って活動する機会の拡大を通じ、すべての県民が能力を発揮できる、豊かで潤いのある暮らしや活力のある地域の創造を目指します。

#### 生き生き指標

○「普段の生活の中で芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合 **29.1% → 38.0%**

県民満足度調査において、「満足」又は「やや満足」と回答した人の割合

○成人男女の1週間に1日以上運動・スポーツをする割合 **49.5% → 52.0%**

○ナショナルチームキャンプ等誘致件数 **20件（4年間累計）**

ナショナルチーム・国代表選手のキャンプや、国際スポーツイベント（ワールドカップ、世界選手権、国際親善試合）、国内トップレベルスポーツイベント（日本選手権、全日本実業団大会、全日本社会人選手権）等の誘致件数

○東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数 **2,000件（4年間累計）**

文化の祭典でもある東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとして、国等が認定する文化イベントの件数

○公立図書館から借りた本の数 **6.54冊 → 7.00冊**

県民1人当たりの貸出冊数

#### 重点施策

##### ■文化とスポーツの力を活用した地域の活性化

市町村、文化団体、地域住民、芸術家等と連携し、アートイベントで地域に人を呼び込む取組などにより、地域のイメージアップとにぎわい創出を図るとともに、将来の地域文化の担い手を育成し、文化を核とした地域の活性化を推進します。

また、トップクラブチームをはじめとする地域のさまざまな資源を活用したスポーツ交流等を促進することで地域の一体感や活力を醸成するとともに、地域でスポーツを支える人材を育成することにより、スポーツを核とした地域づくりを進めます。

##### ■生涯にわたってスポーツに親しめる環境づくりの推進

県民誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、スポーツを支える活動に参加できるよう、運動を始めるきっかけづくりや、インターネットを活用したスポーツ関連情報の発信などの環境づくりを推進します。

## ■東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域活力の醸成

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、市町村や関係団体と連携し、県民に夢や勇氣、感動を与えてくれるトップアスリートの育成・強化や、ナショナルチーム等のキャンプ、トップレベルの大会誘致によるスポーツ交流を促進するとともに、岡山の特色を生かしたさまざまな文化イベントを展開し、文化芸術活動の一層の活性化と国内外からの誘客により、地域の活力を醸成します。

## ■生涯学習活動の推進

生涯学習活動を支援する環境づくりに向け、県生涯学習センターを中心に、多様な主体との連携・協働を進めるとともに、県立図書館と市町村立図書館のネットワークの充実等を図ります。

### 推進施策

#### □トップアスリートの育成・強化等の推進

本県ゆかりの選手が、オリンピックなどの世界大会や国内トップレベルの大会で活躍できるよう、トップアスリートの育成・強化を図ります。

また、育成したトップアスリート等が次世代を担う人材を育てる指導者として、地元で貢献できるような好循環の創出を推進します。

#### □さまざまな分野におけるボランティア活動の支援

福祉や観光、地域活性化、在住外国人との共生など、さまざまな分野において活躍するボランティア等の活動を支援するため、各種相談への対応や活動情報の提供、研修等を行います。

#### □「男女が共に輝くおかやまづくり」の推進

さまざまな分野における女性の活躍の場の拡大や意思決定過程への参画を促進するため、関係団体への働きかけや人材の養成を行うほか、男女間の暴力根絶に向け、関係機関との連携や、広報・啓発、被害者の自立支援等に取り組むなど、性別にかかわらず、あらゆる分野で個性と能力を十分発揮できる社会の実現に向けて意識改革を促進します。

#### □文化創造活動の振興

広く県民が文化に親しみ実践することができるよう、県立美術館、天神山文化プラザ等の文化施設の利用促進や充実を図るとともに、文化団体等の活動をさまざまな形で支援し、県民の文化創造活動の振興を図ります。

#### □高齢者の生きがいづくりと社会参加活動の促進

活力ある地域社会を形成するためには、高齢者が社会の重要な一員として生きがいを持って活躍することが望まれています。特に、元気な高齢者は、地域包括ケアシステムの構築に向けた新たな担い手としての活躍が期待されています。このため、市町村と連携し、高齢者と若い世代間の交流や、相互支援の活動、生活支援等に取り組む老人クラブなどの活動を支援し、高齢者の生きがいづくりや社会参加活動を促進します。

#### □人権尊重の社会づくりの推進

複雑・多様化する人権問題の解決に向けて、家庭、地域、職場などさまざまな場において、多様な主体との連携・協働による研修、情報提供、広報活動等に取り組むとともに、相談・支援体制の充実を図るなど、総合的な人権施策を推進し、すべての県民がお互いに尊重し、支え合う社会づくりを進めます。

## 9 情報発信力強化プログラム

### 概要

インパクトのある情報発信を戦略的に推進するとともに、首都圏へのアンテナショップの開設やおかやまマラソンの開催などを通じ、本県の魅力を積極的にアピールすることにより、本県の認知度向上に取り組んできました。

今後とも、観光誘客、移住・定住の促進、県産品の販路拡大、企業誘致などをより一層進めるためには、本県の認知度を高めていく必要があることから、首都圏等への情報発信を強力に進めます。

また、県民が本県固有の価値を再認識し、愛着と誇りを持って、その魅力を発信する取組を促進します。

### 生き活き指標

○全国における本県の認知度 **全国 31 位 → 全国 20 位以内**

民間シンクタンク調査による 47 都道府県の認知度の全国順位

○県民等の本県への愛着度 **全国 32 位 → 全国 20 位以内**

民間シンクタンク調査による 47 都道府県の県民等の愛着度の全国順位

○県PRサイトへのアクセス数 **24,000 アクセス/月 → 30,000 アクセス/月**

本県のPRサイト「晴れの国おかやま」などへのアクセス数

○ファンサイトへの登録者数 **3,314 人 → 13,000 人**

本県の情報交流サイト「もんげ一部」への登録者数

○本県に関する知識を有すると認定された人数 **778 人 → 3,000 人**

### 重点施策

#### ■イメージアップ戦略の推進

岡山の名前と良いイメージを首都圏はじめ全国に浸透させるため、インパクトのある動画コンテンツや関連イベント、PR 専門会社を活用した首都圏等のメディアへの取材誘致など、アピール力の高いプロモーションを戦略的に展開し、本県のさらなる認知度向上に取り組めます。

#### ■首都圏アンテナショップを活用したマーケティング強化

首都圏アンテナショップにおいて、立地を生かした「売れる商品づくり」を「マーケティング・ラボ（調査、分析、提案を実験的に試みる場）」として取り組むとともに、消費者の反応等を県内事業者にきめ細かくフィードバックすることにより、県産品の魅力向上や販路拡大、さらには本県の認知度向上につなげます。

#### ■ポータルサイト等による魅力発信の推進

本県に興味を持ってもらうとともに、おかやまファンの拡大を図るポータルサイトや、ソーシャルメディア等を効果的に活用しながら、市町村や民間団体、大学、「おかやま晴れの国大使」等とも連携した本県の魅力発信を推進します。

#### ■本県に対する愛着心と誇りの醸成

「晴れの国おかやま検定」の活用や各種広報媒体での情報発信などにより、本県の自然や歴史、文化、偉人など、本県固有の価値について、知識を深める機会を増やし、県民の愛着心と誇りを醸成します。

## 推進施策

### □マスコットキャラクターの活用促進

本県のマスコットキャラクターをイベント、印刷物、インターネットサイト等で活用するとともに、民間における商品への利用やキャラクターグッズの商品化等を促進し、本県のイメージアップにつなげます。

### □映像作品を使った岡山の発信

県観光連盟や地域フィルムコミッション等と連携してロケ誘致を推進し、県内での映画やテレビドラマ等の撮影実績を増やすことにより、本県の認知度向上とイメージアップを図り、国内外からの誘客につなげます。

### □スポーツを通じた岡山の情報発信

東京オリンピック・パラリンピックに向けたナショナルチームのキャンプ等の誘致をはじめ、地元トップクラブチームの試合や、中四国最大規模のおかやまマラソンの開催、それらに併せて展開する観光スポットや特産品のPR、岡山らしいおもてなしなど、スポーツを通じた情報発信により県境を越えた交流の輪を広げるとともに、県外からの積極的な誘客を図ります。

### □岡山からの文化発信

東京オリンピック・パラリンピックに向けて、世界に誇る豊かで多様な文化プログラムを展開するとともに、岡山ゆかりの文学作品を募集・表彰する内田百閒文学賞等を通じて、文化を創造し、楽しみ、感動できる環境づくりを推進し、岡山の文化を国内外に発信します。

### □海外に向けた魅力発信

日本への関心が高まる東京オリンピック・パラリンピックに向けて、本県の認知度のさらなる向上を図るため、多言語によるウェブサイトなどにより岡山の魅力を海外に向けて積極的に発信します。

(関係部局：総合政策局、県民生活部、環境文化部、産業労働部)

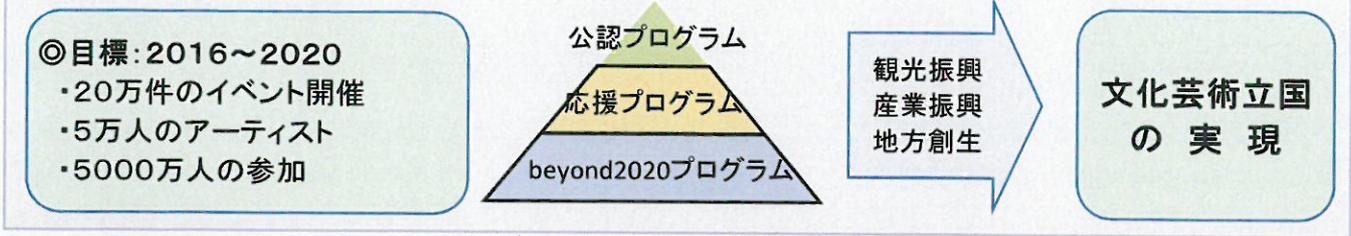
# 重 点 事 業 調 書

担当部局・課名		環境文化部文化振興課										
新生き活き プラン	重点戦略	Ⅲ 安心で豊かさが実感できる地域の創造										
	戦略プログラム	8 生きがい・元気づくり支援プログラム										
	施策	3 東京オリンピック・パラリンピック等を通じた地域活力の醸成										
総合 戦略	基本目標	4 地域の活力を維持する										
	対策	4 地域の持続的発展のための活力の維持										
	政策パッケージ	4-① 地域社会の活性化										
重点事業の名称		おかやま生き活き文化プログラム推進事業										
終期設定(年度)	32	予算区分	一般	事項名	芸術文化活動費							
現状・課題・根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリンピック・パラリンピックはスポーツのみならず文化の祭典でもあり、日本文化を国内外に発信する絶好の機会</li> <li>・本県文化の価値を再認識し継承・発展させるとともに、新たな文化芸術を創造していくことが必要</li> <li>・文化芸術団体の多くは組織体制が脆弱であり、若手アーティストは作品展示の場が少ない</li> <li>・東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの展開の機運を醸成するとともに、文化芸術団体、若手作家の取組に対し支援を実施</li> </ul>											
事業の内容	<p><b>新規</b> 文化芸術アソシエイツ事業 《6,185千円》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コーディネーター（1人） 《5,185千円》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化プログラムの展開を支援・地域文化資源発掘事業の企画</li> </ul> </li> <li>○ サポートイング・パートナー（3人） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域文化を担う若手リーダーがコーディネーターをサポート</li> </ul> </li> <li>○ 地域文化資源発掘事業 《1,000千円》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を生かした新たな取組を企画・実施</li> </ul> </li> </ul> <p><b>新規</b> 文化プロジェクト推進事業 《16,194千円》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化プログラムキックオフイベント 《800千円》</li> <li>○ 1氏賞10周年記念イベント 《1,379千円》</li> <li>○ 芸術文化育成・支援事業 《2,000千円》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本県ゆかりの若手作家の発表の場の提供</li> </ul> </li> <li>○ アーティスト滞在・交流事業 《4,000千円》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アーティストが地域資源を活用した滞在制作を実施</li> </ul> </li> <li>○ アートで地域づくり実践講座 《8,015千円》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・アートマネジメント力のあるキーパーソンを育成</li> <li>・講座卒業生の自主的企画事業を支援</li> </ul> </li> </ul>											
事業の意図 効果等	<p>&lt;事業の意図・効果&gt;</p> <p>東京オリンピック・パラリンピックに向け、市町村、文化関係団体等と連携を図りながら、岡山の特色を生かした様々な文化イベントを展開し、文化芸術活動の一層の活性化を図るとともに、国内外からの誘客を促進し、地域の活性化を醸成する。</p>											
	<p>&lt;当該事業の目標設定&gt;</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">文化プログラムの件数（2,000件）</td> <td>現状</td> <td>H29</td> <td>H30</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>400</td> <td>400</td> </tr> </table>						文化プログラムの件数（2,000件）	現状	H29	H30	0	400
文化プログラムの件数（2,000件）	現状	H29	H30									
	0	400	400									
新生き活きプラン 総合戦略との関係	関連生き活き指標		現状値	目標値								
	東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数		0件	2,000件								
	関連重要業績評価指標		現状値	目標値								
	県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」に満足またはやや満足と回答した者の割合		30.2%	38.0%								
事業費の見積もり	区分	H28 予算額	H29 予算要求額	H30 見込額	H31 見込額	H32以降見込額						
	事業費(単位:千円)		22,379	20,200	20,200	20,200						
	財源内訳	一般財源		21,000	20,200	20,200	20,200					
		起債										
		その他特定財源		1,379								

# おかやま生き生き文化プログラム推進事業

## 文化プログラムの展開

《東京2020終了までに全国津々浦々で文化プログラムを実施》



## 本県の取組方針

- ◎多くの県民が、文化プログラムを通じて、2020東京大会に繋がる。
- ◎本県の文化を国内外に発信し、2020東京大会の開催効果の本県へも呼び込む。
- ◎未来に引き継ぐべき”2020東京大会”のレガシーを本県でも創出する。

## おかやま文化プログラムの推進

	項 目	2017	2018	2019	2020
参 画	・文化プログラム認定・PR		(認定目標:2000件)		→
	・地域文化資源発掘事業				→
アクション	・文化プロジェクト推進事業				→

## 文化芸術アソシエイツ事業【新規】

- コーディネーター(1人)
    - ・文化プログラムの展開を支援
    - ・地域文化資源発掘事業の企画
  - サポーティング・パートナー(3人)
    - ・地域文化を担う若手リーダーがコーディネーターをサポート

- 地域文化資源発掘事業
    - ・地域資源を生かした新たな取組を企画・実施



## 文化プロジェクト推進事業(アクション)【新規】

- 文化プログラムキックオフイベント
    - ・文化プログラム、文化芸術アソシエイツの周知
  - I氏賞10周年記念イベント
    - ・受賞作家によるトークセッション 等
  - 芸術文化育成・支援事業
    - ・本県ゆかりの若手作家の発表の場の提供

- アーティスト滞在・交流事業
    - ・アーティストが地域資源を活用した滞在制作を実施
  - アートで地域づくり実践講座
    - ・アートマネジメント力のあるキーパーソンを育成
    - ・講座卒業生の自主的企画事業を支援

## 目指すべきレガシー・コンセプト

- ①日本文化の再認識と継承・発展

②次世代の育成と新たな芸術文化の創造

③日本文化の世界への発信と国際交流

④全国展開によるあらゆる人の参加・交流と地域活性化

## 新おかやま文化振興ビジョン（仮称）策定スケジュール(案)

### ○平成29年

- ・ 2月13日 文化振興審議会（平成28年度第1回）  
策定スケジュール案説明、協議
- ・ 5月下旬 文化振興審議会（平成29年度第1回）  
新ビジョンの骨子案協議
- ・ 8月下旬 文化振興審議会（平成29年度第2回）  
新ビジョン素案協議
- ・ 10月中旬 県議会常任委員会  
素案及びパブリック・コメント実施報告
- ・ 10月中旬  
～11月中旬 パブリック・コメント実施（1カ月間）
- ・ 11月下旬 県議会常任委員会  
パブリック・コメント結果報告
- ・ 12月下旬 文化振興審議会（平成29年度第3回）  
新ビジョン最終案協議

### ○平成30年

- ・ 2月上旬 県政策推進会議  
県議会常任委員会  
文化振興審議会（平成29年度第4回）  
新ビジョン報告
- ・ 4月～ 新ビジョン計画期間開始

# 岡山県文化振興審議会規則

平成十八年三月二十四日  
岡山県規則第五十一号

(趣旨)

第一条 この規則は、岡山県附属機関条例(昭和二十七年岡山県条例第九十二号)第四条の規定により、岡山県文化振興審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第二条 審議会は、次の事項を所掌する。

- 一 岡山県文化振興基本条例(平成十八年岡山県条例第十五号。以下「文化振興基本条例」という。)第八条の規定により知事から諮問された事項に関する調査審議及び意見の具申
- 二 その他文化振興基本条例の施行に関する意見の具申

(組織)

第三条 審議会は、委員二十名以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから知事が任命する。

(委員の任期)

第四条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、任期満了後であっても、新たに委員が任命されるまでは、その職務を行うものとする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第五条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第六条 審議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門部会)

第七条 審議会は、その所掌事項の一部を分掌させるため、専門部会を置くことができる。

(委員以外の者の意見の陳述)

第八条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に審議会の会議に出席して意見を述べさせ、又は説明させることができる。

(庶務)

第九条 審議会の庶務は、環境文化部文化振興課において処理する。

(その他)

第十条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成十八年四月一日から施行する。

附 則(平成二二年規則第二七号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成二十二年四月一日から施行する。

## 国指定文化財

### 重要無形民俗文化財

名 称	所在地	保護団体	指定年月日
1 白石踊	笠岡市白石島	白石踊会	昭和51年 5月 4日
2 備中神楽	備中地方	備中神楽成羽保存会	昭和54年 2月 3日
3 大宮踊	真庭市蒜山地方	大宮踊保存会	平成 9年12月15日
4 西大寺の会陽	岡山市東区西大寺中	西大寺会陽奉賛会	平成28年 3月 2日

### 記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財

名 称	所在地	保護団体	選挙年月日
1 備中神楽	高梁市成羽町	備中神楽保存会	昭和45年 6月 8日
2 白石踊	笠岡市白石島	白石踊会	昭和46年 4月21日
3 大宮踊	真庭市蒜山地方	大宮踊保存会	昭和46年11月11日
4 唐子踊と太刀踊	瀬戸内市牛窓町・同市邑久町	唐子踊太刀踊連合保存会（唐子踊保存会・太刀踊保存会・粟利郷区太刀踊保存会）	昭和50年12月 8日
5 ヒッタカ	笠岡市金浦	ヒッタカ保存会	昭和51年12月25日
6 布施神社のお田植祭	鏡野町富東谷	布施神社お田植祭保存会	昭和53年 1月31日
7 吉備津彦神社御田植祭	岡山市北区一宮	吉備津彦神社御田植祭保存会	昭和54年12月 7日
8 備中の辻堂の習俗	岡山県		昭和56年12月24日
9 千屋代城のとうや行事	新見市大字千屋小字代城	稲倉魂の会（うかのみたまのかい）	昭和58年12月16日
10 美作の護法祭	美咲町 久米南町	護法祭奉賛会	昭和60年12月20日
11 岡山県の会陽の習俗	岡山県		平成15年 2月20日
12 弘法寺跣供養	瀬戸内市	弘法寺跣供養保存会	平成28年 3月 2日



